

2012年10月3日

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

日経産業新聞に当社の取り組みが掲載されました

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅)は、株式会社アイレップ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長CEO:紺野俊介)および btrax, Inc.(本社:San Francisco、CEO:Brandon K. Hill)と共同で、最先端アドテクノロジーの動向調査や研究を目的とした「lab+ (ラボプラス)」を米国サンフランシスコに開設いたしました。

当社は、メディアレップ事業を主力事業としておりますが、インターネットの黎明期よりネット広告テクノロジー領域に力を注いでおり、これまでも広告取引に係る様々なサービスを提供してまいりました。

このたび、米国テクノロジー系ベンチャーの集積地であるサンフランシスコ・シリコンバレーを拠点とし、ノウハウ・リソースの相互補完・強化を図ると共に、急激な市場変化への対応、R&D(※1)にて獲得したサービス、ソリューションの提供を行うことで、クライアント企業への問題解決力を飛躍的に高めることが期待できると考えております。

上記の取り組みが、以下の通り本日の日経産業新聞に掲載されました。

(※1)企業の研究・開発業務および部門。「R」は“Research”(研究)を、「D」は“Development”(開発)の意味。

【掲載】

・2012年10月3日付 日経産業新聞

『博報堂DY系、米に拠点～ネット活用ノウハウ研究』

※詳細は、当社のコーポレートサイトに掲載しておりますリリースをご参照ください。

・米国サンフランシスコに「lab+ (ラボプラス)」を開設

リリース URL http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/20121003_lab.pdf

以 上